

## 水はレシピを持たない唯一の飲料水です

水（飲み水）のブランドとは、何を言うのでしょうか。

「水」は自然水とも言われますが、殺菌工程やボトルへの充填工程などで処理されますので、人の手を加えた加工品です。

ただ、「味付けや、添加剤を加える」などのレシピは一切持ちません。

自然をそのままお届けするのですから、加工品であって加工品では無いと言えます。

高級時計とかハンドバッグとか化粧品のように、企業名がブランドとなる代わりに、「この土地の水」かが・・・すなわち「採水地（汲み上げた場所）」がブランドとなります。

日本の水の「質の高さと安全性」は定評のあるところです。中でも国内第一級の植生自然度を誇る、富山県「北アルプス立山の水」は、アルプスの豊かな鉱物資源（ミネラル）

と、森林帯による浄化作用で、長期間育はぐくまれたブランド中のブランド水です。

水を理解する上で、もう一点大切な事を述べます。

昔から「お茶で薬を飲むな」と、聞いたことはありませんか。薬は「病む体」にとって効き目（作用性）があるから飲む訳です。作用性があることは程度は別にして副作用（副作用）もあることになります。

それと同じようにお茶もまた、何らかの効き目（作用性）があり、互いの効き目で互いの効能を損なってしまうことから、「お茶で薬を飲んだらダメよ」となったのです。

昨今の風潮は、全てを「体に効く」とか「体にいい」とかなどの点のみで強調しますが、そんな狭い範囲で論じられないものが「空気と水」です。中でも「水に求めるもの」は、ただ唯の一点「免疫力の維持と向上」の裏方役として、体に潤いを与えるだけの機能でいいのです。

硬度の高い（マグネシウム、カルシウムが多量）海外の水に比べ、日本の水は全体的に硬度が低く（マグネシウム、カルシウムが少量）、飲みやすく、体に不要な作用を与えない理想的な水です。

この理想的な飲み水を太古の昔から永遠と飲み繋つないで来たからこそ、「日本の女性の肌は世界一」と、言われるようになったのだと考えます。

不足したミネラルを「水に求めて」などとする宣伝には、間違っても惑わされないで下さい。

吸収性がよく体に潤い飲みを与えてくれる水こそが、「最良の水」であるのです。

「水」は、薬でもサプリでも妙薬・秘薬でもありません。「単なる水」であることが真髓なのです。

★健康体質作りに向けて 🍷 「飲むなら水を」の生活習慣を提唱します

- ①水道水で構いません
- ②塩素が気になるなら、「ミネラルウォーター/出来たら硬度100以内」をご利用下さい
- ③吸収性に優れた、ミロクスター水「ファインアクア」なら申し分ございません